

脈搏と呼吸

乳児の體温は一日中に動搖が少く、殆ど平等である。通常三六度五―六分を保ち、脈搏及び呼吸は新生児より幾分少く大人との比較は左の如し。

Table with columns for age (新生児, 乳児, 二―三年, 五―十年, 大人) and rows for pulse rate (脈搏數) and respiration rate (呼吸數).

體重と身長

新生児は生後第二日に體重が非常に減少する。併しこれは多く四五日で止み、再び少しづつ増加して一週間から十日頃に又元の分娩時の體重に復歸する。その後は大體左表標準の如く平均五ヶ月目には生れた體重の二倍となり、一年目には三倍となる。身長は初めの三ヶ月間に一〇釐ほど伸び十ヶ月目の終り頃には一二―一三釐伸びる。

Table showing infant weight and height by month (月齡) for boys (男) and girls (女).

幼児と學童の體重身長

Table showing weight and height for children from 1 to 11 years old, categorized by gender (男, 女).

標準食一日量

蛋白質九〇瓦(二四匁) 脂肪二〇瓦(五匁) 炭水化物四五〇瓦(一一二匁) 衛生局發表。

但、良質の蛋白質であれば八〇瓦或はそれ以下で十分であるがこの減量だけを脂肪又は炭水化物で補へばよい。即ち個性及び種々の環境によつて斟酌すべきである。茲に注意すべきは大切な發育時期に粗食し、多量の蛋白質を必要としない中年以後に美食する一般的傾向は是正すべきであらう。一日分の總カロリー量を年齢別にすると、

Table showing daily calorie requirements by age group (年齢).

激勞働者 三〇〇〇―四〇〇〇 老人(七〇) 一八〇〇―一九〇〇

摘草料理五種

- 一、土筆 玉子とち 穂の出はじめを摘んで袴を去り煮出汁醬油にみりん砂糖を少しづつ加へて煮立て、土筆を入れ柔かになつた時、玉子をよくほぐし、煮汁を掬つて加へませて流し入れ、火から下して蓋をしてむらして置く。この外酢味噌和からし和、また清汁に加へてもよい。粕漬は穂ばかりをよく洗つて漬ける。
二、よめ菜 ひたし物 ゆでて水につけおくを去る。煎煮、ゆでて切干大根(これもゆでて)と半々にませ油煎にし醬油を注いで煮あげる。よめ菜は香が強くアタの多いものであるから切干を加へると柔らいで風味もよくなる。よめ菜飯も結構。
三、芹 田の畔などに群り生へて極めて丈が短く、葉の小さいのが香味共によい。根も共に洗つて清汁、ひたし物などよい水の清い谷間などは殊によいが、水田に近いものは蛭の卵がついてゐる事があるから避けた方がよい。
四、たんぼぼ ゆでて水にさらしてひたし

物とする。苦味をもつた風味がある。五、餅草(よもぎ) 柔かいわか芽をつみゆでて水につけアタを去り、細く刻んで強くしぼる。しぼり粉を湯でこね、蒸して木鉢にとり餅草をませてこね、丸めて豆粉をつけ又は餡を包む、餅につくにはもち米を籠に入れた上に載せて蒸しませて搗く。

乾魚を柔かくする法

普通、水につけるが魚は鳥獸肉よりも溶解ものが少いため、水中に長くひたして置くと養分の損失が大きい、米とぎ汁の中にひたすと幾分養分を失つても米とぎ汁の甘味が肉の方へ浸みこみ味は左程悪くない。早く柔かくするには灰汁の稀薄液又は曹達を少量加へた水を用ゐる、これらは三十分間も浸すと柔かくなる。章魚の乾ものは中々柔かくならぬが灰汁に浸した後小豆と共に煮るとよい、但し眞味は害はれる。

茶の化學的組成

茶の特有成分は茶素、タンニン、芳香油等で茶素は茶の外、珈琲、カカオ、バラゲ

家庭電氣の心得

- ◇電氣器具は信用ある製造所の製品を購ふ事、熱のため直に毀れ易い素焼の絶縁體に素線を捲きつけた粗雑な湯沸や、薄いゴムで被覆してあるため暫時使用すると内部の素線を露出し易いコードをつけた器具等は用ひない事。
◇アイロンを使用後疊の上に置き忘れない事、アイロンは熱してゐても、色で見分けがつかぬので過り易く火災の原因となる。
◇電氣蒲團を床の中に置き忘れない事、電氣フutonは空氣中で電氣を通じてもあまりあたゝかくならないが、フutonをかけた置くと非常に熱せられ、普通過熱を防ぐために自動遮斷器を附屬してゐるが數

次悪くなつてゐるから危険である。
◇家屋を増築又は修繕或は瓦斯取付工事を
した後は必ず電気工事人に見て貰ふこと
大工などが電気知識に乏しいため、數次
無意識に危険な工事をなし易く、又電燈
線と瓦斯管とが接觸すると、瓦斯の鉛管
に電氣が通じて鉛を熔解し中から出る瓦
斯に點火する危険があるからである。
◇電熱器を使用するに際しヒートコイルが
高度に赤熱されることを必らずしも要し
ないのでたとへ灼熱されずとも十分な場
合が多いのであるから、その邊の加減を
よく心得て、始終多量の電流を通じて灼
熱せしむるため電流を浪費し且つ電熱器
の壽命を縮めるやうな愚をなさらないや
うにする。

挿花の由來

傳説には推古天皇の朝に既戸皇子が山城
國の某池の畔に觀音堂を建立し、小野妹子
をして守らしめ、妹子に挿花の法を授けた
のが池坊流の始めであると云ふ。

池坊流 小野妹子
青山流 園基氏

年齢による玩具

嬰兒(〇歳—三歳)の玩具
一、仰臥時代(ねてゐる頃)教育の要點、
眼の練習(視覺、視的知覺を練る)玩具
風車、風船、旗類、紙幟、犬張子、吊し
猿、連がり猿、ふくら雀(枕元に立て又
は吊して眺めさせる)
耳の練習(聽覺、聽的知覺を練る)玩具
風鈴、ガラ、デン、太鼓、笛、笙
の笛、鳥笛、鳩ボツポ、ハーモニカ、豆
太鼓等(傍の人が使用して聴かせる)
二、安坐匍匐時代(はひある頃)
眼の練習としての玩具、色のはげない形

三、起立歩行時代(歩き出す頃)

あらゆる感覺と知覺の練習としての玩具
ゴム、木製の簡単な彩色玩具、太鼓、鉦
ガラ、笛、笙の笛、鳥笛、ハーモニ
カ、ゴム人形、ゴムまり、木製達磨等(こ
種の浮魚類、ゴム、木、セルロイド製の
動物類等)
運動力主として歩行の練習にはまり、達
磨、投げ又は轉かして後を追ふ玩具、怪我
の虞のない低い寄りかゝり臺や乗物、
すべり板、押して行く物。
四、歩行確立より三歳までの頃
起立歩行時代の感覺と知覺練習玩具の外

状態々のゴム、木製の玩具(尖小のもの
は嚴禁)耳の練習としての玩具、ガラガ
ラ、テン、太鼓、振鈴、その他手で弄
んで簡単に鳴らし得るもの。

運動の練習(皮膚覺、運動覺、これ等に
關する知覺と運動)一般身體活動性を練
る玩具、おしゃぶり、ゴム又は木製の人
形、動物類、ゴムまり、木製達磨等(こ
れ等の玩具を握りしやぶり、つかみ、投
げてその傍に匍ひよる等の間に筋肉を練
る。

首振り人形、動物、玉乗人形、餅つき兎
毛人形、飛んだりけねたり、米搗車機械
體操、馬上軍人、運動人形、豆食鳩、お
じぎ動物類、負け猿、負け人形、雛人
形簡単な樂器玩具類構造簡單木セルロイ
ド、布、紙土製より選り硝子製は嚴禁自
からひき歩く人形、動物、車類、複雑な
操縦を要せずその場で乗り又はひいて貰
ふ玩具、春駒、回轉シーソー、木馬シー
ソー、椅子馬、拮抗板などの類。

幼兒(四歳—六歳)の玩具
◇あらゆる感覺と知覺の練習として嬰兒期
の最後に用いた玩具及び興味を刺戟する
玩具の外同種の他の玩具がよい但し構造
は簡單でガラス製は禁す。
◇模倣及び戲曲本能の練習として軍隊遊び
玩具、お祭り遊び玩具、まゝごと道具そ
の他社會生活を模倣し、又は芝居じみた
遊戲に要する玩具。
◇好奇心の刺戟及び練習として秘密箱、ピ
ツクリ箱、魔術箱、變り屏風、重ね林檎
等。

◇構成想像の練習として幼稚園恩物一切、
組立人形、同家屋類、はめ繪、砂場遊び

等相撲、獨樂、家族人形並べ人形、桃太
郎、餅搗兎、兎と狸、その他童話、史談
に因んだ玩具等(受動想像の練習ともな
る)
◇同情心の涵養として雛人形、衣裳人形、
小動物類、負け猿、あね様等。
◇美的感情の涵養として錦繪、千代紙、繪
本、色板並べ、簡単な樂器玩具等。
◇運動力主として一般身體操作の練習とし
て行進木馬、片足乗三輪車、幼稚園車、
幼稚園馬、ブランコ、我慢くらべ、乗れ
る自動車、三輪自動車、乗れる飛行機車
その他簡単な操縦で自から乗り歩ける玩
具等。
その他性質による玩具の選び方がある。併
し兒童の遺傳的性質は如何なる教育と雖も
不可能と云はれるが玩具によつてその長所
を助長し短所を自然に抑制することは出來
る。即ち落つきのない子供、長つぎしな
い子供、強情な子供、思ひやりのない子供
實行力に乏しい子供、物事に感じない子供
に對しこれを玩具によつて矯正する事は出
來る。

いろはかるた

東國地方 西國地方
犬も歩けば棒に當 一寸先は暗
ろ 論より證據 論語讀の論語知ら
は 花より團子 針の穴から天をの
に 惡まれ子世にはば 二階から目薬
ほ 骨折損のくたびれ 佛の額も三度
へ 尻をひつて尻つぼ 下手の長談義
と 年寄の冷水 豆腐にかすがひ
ち 塵も積て山となる 地獄の沙汰も金次第
り 律義者の子澤山 論言あせの如し
ぬ 盜人のひる寢 糠に釘
る せりもはりも照ら 類を以て集る
を 老いては子に従ふ 鬼も十八
わ われ鍋にとちぶた 笑ふ門に福來る
か かつたいの瘡うら かへるの面に水
よ みの 夜目遠目傘のうち
た 井のぞく 立板に水
旅は道伴れ世は情

れ 良薬は口にながし
 そ 總領の甚六
 つ 月夜に釜をぬく
 ね 念には念を入れ
 な 泣面を蜂がさす
 ら 樂あれば苦あり
 む 無理が通れば道理
 ひつこむ
 う そから出た誠
 ゐ 芋の煎えたも御存
 知なし
 の 咽もと過ぐれば熱
 さを忘る
 お 鬼に金棒
 く 臭いものにはふた
 や 安物買ひの銭失ひ
 ま 負けるは勝
 け 喧嘩過ぎての棒ち
 ぎり
 ふ 文はやりたし書く
 手は持たず
 こ 子は三界のくびつ
 かせ

れんぎで腹を切る
 袖ふりあふも他生
 の縁
 月夜に釜をぬく
 猫に小判
 なす時の閻魔顔
 來年のことを云へ
 ば鬼が笑ふ
 馬の耳に風
 氏よりそだち
 鯛の頭も信心から
 のみと云へば才雄
 負うた子に教へら
 れて淺瀬を渡る
 臭いものには蠅が
 たかる
 暗夜に鐵砲
 播かぬ種は生えぬ
 下駄にやき味噌
 武士は食はねど高
 揚杖
 これに懲りよ道齋
 坊

え えてに帆をあげる
 て 亭主のすきな赤烏
 帽子
 あ 頭かくして尻かく
 さ 三べん廻つて煙草
 にせう
 き 聞いて極樂見て地
 獄
 ゆ 油斷大敵
 め 目の上のこぶ
 み 身から出た錆
 し 知らぬが顔
 ね
 縁は異なもの味な
 もの
 ひ 貧乏ひまなし
 も 門前の小僧習はぬ
 御經をよむ
 せ 背に腹はかへられ
 ぬ
 す するは身を食ふ
 京 京の夢は大阪の夢
 京に田舎あり

縁の下の力もち
 寺から里へ
 足許から鳥がたつ
 竿のさきに鈴
 義理とふんどしか
 かねばならぬ
 幽霊の濱風
 目くらの垣のぞき
 身はみで通るはだ
 かん坊
 しわん坊の柿のた
 ね
 ゑんと月日
 瓢箪から駒
 餅は餅屋
 し 聖は道によりて賢
 し 雀百まで踊忘れず

洋服の手法

洋服をいためる塵と濕氣を除くことが肝

要で塵はブラシで朝夕二回掃ふこと、濕氣を除くため脱いだらすぐ吊して風を通すと、即ち塵の立たない晴天の日光に直射させる。上衣は袖まで裏返し、腋下は殊に注意し、ズボンも裏返して兩脚を竿なり紐に通して乾すこと。

還曆の事

還曆—木、火、土、金、水の五行で萬象を形成する元素である。これから出た天の氣は十干となり、地の氣は十二支となる。十干は甲(キノエ)乙(キノト)丙(ヒノエ)丁(ヒノト)戊(ツチノエ)己(ツチノト)庚(カノエ)辛(カノト)壬(ミノエ)癸(ミノト)十二支は子、丑、寅、卯、辰、巳、午、未、申、酉、戌、亥である。十干を十二支に配當すると、六十支となりこれを年に當てると六十年に一廻りする譯となる故に六十一年目を還曆と稱する。(人間は五行の正氣を受けて生れたもので生れ年の干支によつてその性質運命も宿命的に決定されてゐると云はれてゐる)

河北年鑑戰時版

(定價金壹圓)

昭和十六年十月一日印刷
昭和十六年十月五日發行

發行兼 印刷人 門 間 正 順
仙臺市北目町四一番地

發行所 河北新報社
仙臺市東三番丁一七〇番地

印刷所 東北活版社
仙臺市本荒町一七番地



店貨百の様皆

登 仙

— 登 仙 —

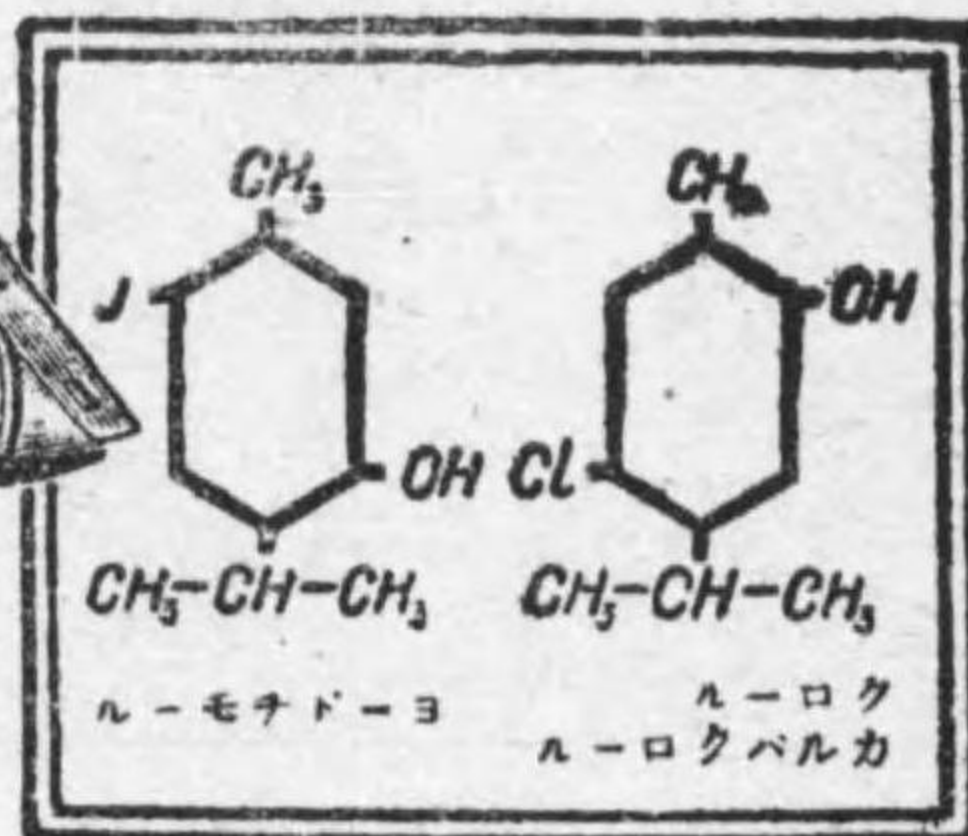
崎 藤

時局に相應しい
最も眞摯なる實用品を取揃へ
銃後お買物調達機關として
邁進致してをります



歯槽膿漏

の豫防に!



**細菌の清掃と
歯ぐきの強化**

恐るべき歯槽膿漏の豫防には薬効性能の強い薬用歯磨きを使って、歯ぐきも同時にマッサージュする事が必要です。その為、薬用クララ歯磨きは最新の強力殺菌劑を配合し、各種の細菌、化膿菌等を化学的に清掃、浄化すると共に、歯ぐきを薬効的に強化しますから、歯槽膿漏やマン歯の豫防に最も効果的です。

費薬部外品
公定格價品

歯磨 **クララ** 薬用

REGISTERED



TRADE MARK

寫眞製版用藥品機械製造販賣

東京市江戸川区逆井二丁目六九八

大和寫眞製版藥品工場

電話城東(68)一、三三三番

東京市芝區西久保八幡町九

大和寫眞製版藥品製造所

電話芝(43)一、九八一番

朝鮮京城蓬萊町三ノ六二

大和寫眞製版藥品京城出張所

電話本局(2)七、七七二番

上海吳淞路大興里四六

大和寫眞製版藥品上海出張所

電話(1)一、一七二番

內科
小兒科

岩手縣一關町八幡街

西城病院

電話四二四番

醫學士 西城 久一郎

岩手縣一關町廣街

一關信用販賣購買利用組合

電話二四八番

組合長 松川 昌藏

火力強く火持の良い經濟的な燃料

光來炭製造販賣

興亞光來炭工業所

本社 東京市四ツ谷區片町二七

電話四ツ谷二三六四

出張所 岩手縣一關町廣街
工場 岩手縣一關町露露

產科
婦人科

岩手縣一關町廣街

林病院

電話三六八番

院長 醫學士 林 賴作

防水劑
專賣特許セメント急結劑ロータス

耐寒劑

製造元 開城化學工業株式會社

本社 岩手縣一關町
工場 岩手縣山目町

電話一關二〇四

事務所 岩手縣花卷町

岩手蠶種共同施設組合

組合長 伊藤 健夫

專務理事 伊藤 精一

岩手縣一關町役場

町長 橋本元

助役 阿部曉

收入役 小谷嘉三郎

收入役 及川朔郎

電氣部
水道部

岩手縣一關町廣街

一關病院

院長 醫學博士 山本弘行

電話 一四四三番

岩手縣指定

一關產婆看護婦學校

平市役所

市長 猪瀬乙彦

市會議長 野崎滿藏

副議長 蓮沼龍輔

平市警防團長 關内正一

平市農會會長 諸橋久太郎

岩手縣金庫 日本興業銀行代理店
 盛岡市金庫 岩手貯蓄銀行代理店
 日本勸業銀行代理店 盛岡市
 日本興業銀行代理店 盛岡市
 岩手貯蓄銀行代理店 盛岡市
 商工組合中央金庫代理所 盛岡市



株式會社

岩手殖産銀行

電話代表一五一五番(5)
 振替口座仙臺七七九五番

岩手無盡株式會社 盛岡無盡株式會社

味の手引
 三國大飯店・町奉行所
 御家族
 れ向食堂
 和洋支那
 三附日本
 茶房食堂

公會堂
 料理スナフ
 茶喫・子菓生洋
 會宴御・禮婚御
 丸内市開盛
 七三八・〇三二一電

多賀本家
 〇七八・八二二三電

岩手縣花卷町上町

渡邊嘉七商店

電話長 二二番

二三番

四一〇番

岩手縣

花卷町役場

町長 宮澤直治

助役 松岡守一

同 齋藤泰賢

収入役 平賀金吾

福利施設

工員大募集

- 1、社宅は衛生と至便を旨として造られ大浴場を十ヶ所に設け従業員家族一般の使用に供して居ります。
- 2、獨身の爲め約四百名を收容し得る大合宿所の設備をし、食費其他を極めて低廉にして入所者に對し凡ゆる便宜を計つて居ります。
- 3、従業員及家族の診療機關として附屬病院があり、病室其他の設備完全にして療養に遺憾なきを期して居ります。
- 4、會社經營の託兒所があり夫婦共稼をすることも出来ます。
- 5、青年學校あり青年工員教化修養の徹底を期して居ります。
- 6、技能者養成施設あり未成年工に對し三ヶ年間所要知識及技能を授け將來中堅工員を養成することになつて居ります。
- 7、娯樂慰安の機關としては俱樂部があり公園及大運動會場の設備等凡ゆる施設が完備して居ります。
- 8、産業報國釜石製鐵所眞道會なる機關を置き従業員相互及會社の意志疎通を圖り、産業戦士として産業報國國民の高揚實踐に努め尙購買部を設け各従業員爲め家庭必需品一切を廉價に供給して居ります。

岩手縣釜石市

日本製鐵株式會社 釜石製鐵所

所長 中原津

釜石市役所

市長 小野寺 有一

會頭 紀谷佐太郎 常議員 谷澤 茂市

役 副會頭 白土 末吉 同 赤崎 門助

同 國分巳之助 同 湊 清

員 常議員 若林 榮治 同 小原 養助

同 谷澤榮太郎 理事 新沼 隆治

釜石商工會議所

合資會社

釜石鐵工所

代表社員 澤田 久米治

川崎汽船株式會社

釜石事務所 釜石市本濱町百三十番地 電話二二番
主任 中原 省一

海運業船舶代理店業

東北運輸株式會社

本社 釜石市海岸通

宮城縣石卷市

東北振興パルプ株式會社石卷工場

電話石卷 七七五番
七七六番
七七七番

主なる設備

活版印刷機	十一臺
オフセット	一臺
四六全判斷裁機	二臺
自動鑄造機	二臺
使用電動機	十二馬力
従業員	七十一名

東北活版社

東北活版社新潟支店

股野陽太郎

仙臺市本荒町十七番地
電話六〇一番・二六四三番
新潟市東堀通十三番町

古河鑛業株式會社
 大倉鑛業株式會社 代理店
 明治鑛業株式會社
 仙臺市北目町通三

稻垣商會

佐藤 秀春

石 炭 亞 炭
 コークス 煉 炭

臨戰體制

代用食 實踐

才御定食 (二圓)

正午ヨリ午後五時マデ

夜代用食 (八十錢)

午後十時マデ

仙臺市虎屋横丁

割烹 松竹

電話 代表 六七〇番

釜石會社團

太洋製氷株式會社
 釜石魚市場株式會社
 奧羽電燈釜石營業所
 三陸汽船釜石營業所
 日本水産釜石冷凍工場
 株式會社釜石通運

日本油脂株式會社製品特約店

株式會社 共榮商會 仙臺營業所

仙臺市柳町一五ノ二(東一番丁通)

電話 三六三四番

振替仙臺三一〇九八

電氣熔接機械器具
 タセト電氣熔接棒
 日本油脂塗料各種
 瓦斯熔接機械器具
 各種ヤスリ
 コンベヤベルト
 鑛山用諸機械
 各種ゲージ工具類

水産工業

ニール(当社魚粉登録名)
有機質肥料として稲麥
果樹・桑園・蔬菜に最適
魚油・魚粕・飼料・餌料

油脂工業

産額東洋一
ニール
化粧石鹼
洗濯石鹼
洗剤・ワッセン

塗料工業

ニッサンペイント
ニッサンラッカー
高田船底塗料
タセト電気熔接棒

農林工業

アルソ製品
製造用アルソ散大豆
アルソ完全配合飼料
大豆油・レシチン・カゼイン
豆 雪

油化工業

航空用
高級潤滑油
軽油・ガソリン
脂 肪 酸

火薬工業

膠質ダイナマイト
硝安ダイナマイト
硝安燐莖
無煙火薬
爆火線

繊維工業

スチーブルファイバー
絹 白 織 維
其 他 織 維 類

資本金
六千七百萬圓
本社
東京・芝・日産館

日本油脂株式会社

仙臺市南町通十三番地 仙臺日産館内

日本鑛業株式会社仙臺鑛業所

電話二、五一六番

日本水産株式会社仙臺出張所

電話二、八三四番・三、三二五番・三、四七四番・三、四七五番

日産火災海上保険株式会社仙臺事務所

電話三四三番

日産生命保険株式会社仙臺支社

電話六八九番

仙臺支店 仙臺市南町通一三 日産仙臺分館

工場所在地

仙臺市東八番丁 仙臺工場

刈田郡白石町 仙南工場

玉造郡岩出山町 仙北工場

仙臺市東八番丁

宮城縣是共榮齋絲株式會社

社長 野崎熊次郎

常務取締役 二瓶泰次郎

工場長 工藤一男

陸海軍諸兵器設計及製造

株式會社 萱場製作所

本社 東京市芝區芝浦一ノ一

電話三田(45)二一六一—八

仙臺製造所 仙臺市小田原長丁通一

電話四・九〇八

◇仙臺技術員養成所 ◇仙臺萱場工業學校

仙臺市小田原清水沼通一
電話四・六五〇

服飾ノ店



仙臺東一番丁

鐘淵製品東北販賣店 電 2555
2466

青	郡	福	盛	弘	山	秋
森	山	島	岡	前	形	田
放	放	放	放	放	放	放
送	送	送	送	送	送	送
局	局	局	局	局	局	局

仙臺中央放送局

本社 東京市芝區田町一丁目

森永製菓株式會社

仙臺工場 仙臺市原町南三丁目 電話一六四八

工場長 硯川 尚武

青森工場 青森市浦町驛通り 電話三・二四三番

工場長 森善甫

本店 東京市京橋區寶町一丁目七 味ノ素ビル七階

森永配給株式會社仙臺支店

管内支店

青森支店 (青森市浦町 電話三・二四三番) 支店長 相澤恒

盛岡支店 (盛岡市開津橋通 電話九七番) 支店長 曾根安雄

山形支店 (山形市十日町 電話六八四番) 支店長 三浦榮之丞

福島支店 (福島市荒町 電話九八九番) 支店長 加藤眞治郎

秋田支店 (秋田市手形堀及町 電話八七四番) 支店長 佐藤新一

支店長 山鳥海三郎
支店長 山鳥海三郎
電話三五六番 小一路一六八番 三三四番

椿製

庄慶香油

ピノールクリーム

植物製

庄慶ポマード

本店 東京市東區東區龜戸町 電話二五二〇番
支店 仙臺市 電話二七一番
出張所 札幌市南區 電話二二六三番

仙臺市北一番丁一〇九

電話代表四、三三〇番

保證
責任

宮城縣販賣組合聯合會

會長理事

大

沼

千

吉

專務理事

入

野

田

孟

仙臺市外記丁十二ノ三八

保證
責任

宮城縣漁業組合聯合會

電話仙臺四七四二、四二五六

女川共同販賣所

女川町 電話三九番

14.4
1081



株式會社
日本勸業銀行

不動產抵當貸付 (田畑、宅地建物、各種財團)
無抵當貸付 (公共團體、各種組合)
手形割引 (農工漁業者五人以上連帶)
短期貸付 (國債、地方債、勸債擔保)
預金有價證券保護預り (公共團體一時借入)

青森	盛岡	仙臺	秋田	鶴岡	山形
支店	支店	支店	支店	支店	支店
青森市米町	盛岡市本町	仙臺市東二番丁	秋田市大町	鶴岡市馬場町	山形市七日町

支店所在地

縣外 東京市日本橋區茅場町一丁目一四(東京支店)
福島縣平市、相馬原町、中村町
仙臺市内 名掛丁、國分町、二日町、木町通、新傳馬町
元寺小路、宮町、荒町、河原町、原町、日ノ出町

仙臺市大町

電話代表四・五〇〇番

日本銀行
代理店



株式會社
七十七銀行

取締役會長 氏家清吉
取締役頭取 柏木純一
副頭取 土屋長衛
專務取締役 木村清五郎
常務取締役 山田万七

縣内支店 石巻、鹽釜、青、氣仙沼、若瀨、角田、中新田、渡邊、大河原、吉岡
岩田山、瀬谷、小生田、蟹籠、後沼、飯野川、赤澤川、耳舞、田尻、岩手縣
所在地 夏、中津山、赤、高湯水、増田、岩沼、櫻木、村田、白石、松島



Ⓢ ¥1.00

14. A
1081

終